

施設で暮らす子どもたちの教育を考える集いに関するアンケート結果

参加者 34 名 回答 30

1. 調査報告について、ご満足いただけましたか？

とても満足（ 9 ） 満足（ 16 ） やや不満足（ 3 ） 不満足（ 0 ） 無（ 2 ）

・児童が何を知りたいか、何に興味があるのかを大人と一緒に学習支援時間にしても良いかもしれません。教科書を解かせるだけが学習の近道ではなく、部屋などの場所に捕らわれず、職員が動けば職員が動いた生活の中でその子が何に興味を持っているか気づくことができれば学習方法の選択にも繋がると思った。

・自分の働く施設の状況だけでなく、周りの状況を知り、気づく事が多かった。学習支援は施設において課題であると認識を持っているものの生活支援する中ではケアしきれない為、今一度施設の仕組みとして再検討が必要だと感じた。

・他施設の現状がわかり、共感できる部分、また改善しなければならない部分が見えたため。

・現状の厳しさを改めて知ったこと。

・内容にはとても興味があった。ただ、アンケート結果の説明が早口で少し理解し辛かったので残念。

・実際の数字を見て進学の少なさ、就職の多さが目に見えました。中卒という 15 歳という若い年齢でとなると職員との関係もしっかりと築かれないままという場合もあると思うと社会で甘やかしていく事が大切な力をつける事がとても大切でケアをしていかないと思いました。

・学習できる環境作り、社会資源を得て学習指導、支援。養育者は暮らし、生活。勉強をやりたいという意欲環境を整える必要。

・途中入場したため、最初の所がつかめなかったため満足としました。

・具体的なアンケート結果や数字の事実として知る理解する事ができた。

・金銭的な問題だけでなく、子どもの学習環境などにも問題があることがわかりました。施設に入ってくる子の生活から心のケア、学習さらに将来まであらゆる事を行わなければならない施設職員の大変さを改めて感じました。考察を載せてもらえたら嬉しかった。

・結果報告のみで終わった感じ。分析や考察をもう少し交えていただけると現状や課題が明確になったのではないと思う。

・普段知る事のできないこと興味のある事が聞けた。

・自施設で感じている学習支援の難しさが他施設でも同じ様な状況であることを確認できた。今後はそれをどの様に改善していくか考える必要がある。

・実際の数字とより具体的なコメントがあり勉強になった。

・アンケート調査を見て、施設での取り組みのヒントにしたい。

・課題と解決方法などがあると良かった。まとめた先も必要

・学習についてまだたくさん子どもたちにできる事があると思った。

・とてもわかりやすかったが、生活シミュレーションについては東京都の進学支援金など一番いい情報のシミュレーションではあまり参考にならないようにも思った。

2. 高橋亜美さんによる講演について、ご満足いただけましたか？

とても満足（ 22 ） 満足（ 8 ） やや不満足（ 0 ） 不満足（ 0 ） 無（ 0 ）

- ・自立を強くない、今できなくても次につなげる。私たちが焦らない。靴下の話が良かった。職員同士共有したい。
 - ・自分たち大人と子ども達の関係のあり方という一番大切な点と思われる事が具体的につかめた。
 - ・特に「自立」という言葉に対する考え方にはっとさせられた。
 - ・具体的な現場からの話がきけた
 - ・自分たちが考えていた以上に「自立」という言葉の重さを感じた。改めて「自立」を考えるきっかけになった。
 - ・自立や支援についての実際が聞いて良かった。
 - ・自分も”自立“とよく言っていると思った。また、自立を早く促さなければという想いが強い事にも気が付いた。支援同様、正解がないものだと思うので、考えたり時に考え直したりしていきたい。
 - ・孤立があらゆる問題発生の基因であると改めて感じました。そして繋がりを作る事、広げることが求められる支援のあり方ではないかと思う。
 - ・私も子どもに「もう中学生だから」「自覚が足りない」など、説教から始まってしまったり、突き放してしまうことがあり、それが相手を孤立させてしまうことに気付き、以後気をつけたいと思った。
 - ・インケアだけでなくアフターケアも重要であるということがとても良くわかりました。
- 資料やグラフだけではわからない相談所職員のリアルな話を聞き施設退所者の問題が低学歴だけでは無い事を理解するとともに受け入れる大切さを感じました。
- ・高橋さんの実践的なお話は大変参考になり、特に孤独感と孤立感は「まず困った事」1位は新聞で読んでいたが、改めて「一人ぼっちの大変さ」を感じた。
 - ・自立という言葉の多様性がみられました。社会的養護にいる子どもたちにとっての自立とは何かを学んでいきたいと思いました。自立をすることが最終目標なのかということにも疑問を持ちました。
 - ・大変ためになりました。自立に対して今後の支援に対して見直す良い機会になりました。
 - ・退所してから数年あとギャップもありなかなか相談にも来れない子どもたち、行方不明だったりする子もいる。アフターケア支援は、行き届いていない中、ゆずりはでの取り組みは支えになると思う。私たちも巣立った子どもたちのSOSや実家のようになれたら良いのだけどやはり信頼関係を繋いでいこうと思った。心の奥にしみしました。
 - ・りょうこちゃんの話はいつ聞いても泣けます。
 - ・ご自身の経験や想いが良く伝わるお話しで、とても良かったです。
 - ・アフターケアにおいて悩むことが多いので、亜美さんの説明は非常にわかりやすく学ぶことが多かったです。
 - ・「自立」という言葉の意味も真剣に考えてみて、当たり前私たちが使っている言葉、価値観も再考してみなければいけないと思った。
 - ・途中からの参加でしたが、「自立」を強いる事を子ども達にしていたのだと実感した。ストレスフルな子たちに職員が更なるプレッシャーを与えないように真の「自立」に向けて考えていきたい。
 - ・自立に置いて考えさせられた。
 - ・とても勉強になった。信頼関係は大切に、丁寧なお世話の必要性を感じた。ありがとうございました。
 - ・“自立支援”という言葉は常に子どもたいちを育て、育んでいく上で欠かせない視点であり我々もそれをしなければならぬ！という想いがあったように思う。プレッシャーと孤立感を増長させる自立支援ではなく、子ど

もたちの巣立ちを本当の意味で見守り、応援できる“自立”を考えたいと強く思った。

・支援者自身の感覚を大切にしながら謙虚にしかし、堅実に活動してみえることよく伝わってきました。同じ福祉に携わる者として学びたいと思う。

3. シンポジウムについて、ご満足いただけましたか？

とても満足（ 11 ） 満足（ 14 ） やや不満足（ 1 ） 不満足（ 0 ） 無（ 4 ）

- ・もう少し時間があっても良かった。
- ・受験失敗、高校中退で施設にいられないというよりも、もう一度チャンスを掴めるよう施設で話し合い、考えていく事が大切であることを知った。児童自立支援施設の存在する形、意義が分かった。
- ・時間が少ない中大変だったと思いますが、質疑応答にもう少し時間があると良かった。
- ・各立ち位置で学習の大切さなど考える機会を作ることができた。支援の方法なども子ども達に合わせて考えていく必要を強く感じた。
- ・社会的養護に関して入門者ですので、大変勉強になった。
- ・普段の様子、現状がよく分かる話し合いでした。
- ・それぞれの立場でのお話、違いなどわかることも多かった。
- ・実際にどのように現場で動いているのか質疑応答でもわかりやすく、とても良かった。
- ・いろいろな立場の方から話を聞いて良かったです。それぞれの立場で取り組みを整え、それぞれが助けを求めあうような連携をもっていく事が子どもにとっての環境かなと思いました。
- ・ゆずりはの取り組み学びたい時に学べる環境あり。素晴らしいです。
- ・具体的な話を聞いてとても良かった。
- ・「教育を考える」に絞らないところで良かった。
- ・学習支援と言いながら、学力向上支援にだけ偏っていないでしょうか。学力向上させるためには、まず学習意欲を向上させることが大切だと思う。そのためには日常生活の中で職員が学ぶ姿勢を見せることが必要なのではないか。
- ・いろいろな立場の方々の意見が聞けた。
- ・メンタルの育成も暮らしの中で重要と気づき、まだポジティブ思考であれば困難な場になっても乗り越えられない。これは生きる芽生えを身を結ぶと感じました。
- ・相談に来て下さいと言ったお願いの仕方とても勉強になった。

4. この企画全体について、ご満足いただけましたか？

とても満足（ 15 ） 満足（ 12 ） やや不満足（ 1 ） 不満足（ 0 ） 無（ 2 ）

- ・社会的養護にある子ども達の自立支援法改正も受けてこれからますます充実させてください。また勉強させてください。
- ・学習支援が自立にとって重要な役割を担っている事を再確認できた。
- ・学習支援の意義、特に学童期から暮らしの一部、習慣づける事が大切だと知った。私の施でも子どもたちが諦めている状況があり、職員もあまり期待していない状況がある。そこで、学習支援の意義や方向性をしっかり示すことができるよう、このことを持ち帰って議論したい。
- ・自立に関する考え方などを違った角度から考える機会だった。施設で暮らす子ども達の教育という点ではもう

少し実践的な話を聞きたいと思った。

- ・大変中身の濃いシンポジウムと講演会でした。

- ・とても勉強になった。いろいろな面を密に考えなければならないということがあると思った。学習面、人間関係、社会性などを育むための基本の土台となる安心できる大人との信頼関係が大切だということを再認識できました。

- ・専門的なお話を伺う事ができて良かった。

- ・学生がかなりの役割を担っているが、その学生の参加が少ない。大学、短大へのアナウンスを工夫した方がよいように思う。

- ・様々な視点から学びを深める非常に良い機会になった。施設に持ち帰って情報共有し、検討していきたい。

- ・2月に施設実習があり、事前学習として知見が広げられればということで参加しました。

思っていた以上の学びが得られて本当に来てよかったと思いました。定員が 250 人だったので思っていたより少なく驚きました。報告と講演の間に休憩が欲しかったです。

- ・もっとたくさんの方が聞く場になれば良いと思いますが、私のように福祉関係でない普通の会社員にも参加できる場として頂けることがありがたいです。長い目で見て自分の関わりを考えたいと思います。

- ・学習支援の具体的な段取りが利害関係に繋がらないもので安心感が沸きました。祖父が塾で働いていましたが、それとは違った学習支援が新鮮でした。

- ・拝聴したことをよく思いめぐらせて今後子ども達職員さん達と接する際に役立てられそうです。

- ・困難を抱えて育つ子どもたちの現状が一般的に見えていないし、他人事のように思う人も多い。だけど虐待は増えているという。社会で子どもを育てる必要性をもっと知らせるためにもこのような企画は大切。

- ・学習、愛着、自立は繋がっていることだが、それぞれについてももっと一つ一つ考えていく事が必要だと思った。時間の中で答えを出すことは難しいが、実践の場ですぐ使える物が見えるとありがたい。

- ・また別の企画にも参加したい。

- ・現状の児童と職員の生活の上で社会の摩擦という、もうここで始まっている社会を身を感じて前進する選択はメンタルも含め外へ発進していくことはこの講演会は良い意義な良い結果を生み出しになるのではないかと思います。